

学生 地域

関わり方ガイドブック

学生と地域をつなぐヒントをお伝えします

一緒に活動

学生さんと

地域の方と

してみたいけど、
どうしたらいいの？

この本の 使い方

東広島市は学園都市としての歴史を重ね、大学と地域の連携が進んでいると言われていています。しかし、まだまだお互いのことを良く知らないために、上手く連携ができていないケースが発生しています。学生さんの「地域の方と連携した活動がしたいけど、どうすればいいかわからない。難しいことを頼まれたりしないかな。」地域の方の「学生さんと一緒に活動してみたいけど、どうすればいいかわからない。気持ちよく活動してもらえるといいんだけど。」

この冊子が、少しでもそのようなお悩みの解消につながり、「学生」と「地域」が連携するヒントとして活用していただければ幸いです。掲載された内容の全てが正解というわけはありませんが、お互いがWIN-WINの関係を築いていくことができればと考えています。

「学園都市づくり交流会議」とは？

「学園都市づくり交流会議」は、大学と地域との交流を通じて相互理解と親睦を深めることで大学の地域への定着を促進し、学園都市づくりに寄与するため、東広島市と大学等が連携して設置した機関です。学生の皆さんが地域のことを知り、関心を持つきっかけとなる「地域体験ツアー」や、地域と関わりながら自らの企画を実践するまでの取組を支援する「ひがしひろしま学生×地域塾」などの学生と地域の交流・連携に関する事業の開催や、それらの情報発信を行っています。

東広島市のこと

＼ 広島県で4番目に多い ／
人口 188,931人 ※令和2年9月末現在

特産品 ・日本酒 ・ビワ
・牡蠣 ・りんご など

特徴のある地域
自然豊かな国際学術研究都市

酒蔵通りなど歴史的・文化的な資源がある地域。

内陸部の、山々や赤瓦の家屋が映える田園風景地域。

4つの大学や多くの試験研究機関が立地する地域。

瀬戸内海の多島美を臨む海岸線など豊かな自然環境がある地域。

若い世代の力が必要

都市部と地方部で抱えている課題が異なり、都市部では、地域コミュニティの希薄化や外国人の方との共存の仕方等の課題があり、地方部では人口減少や空き家増加・鳥獣被害の課題などを抱えています。

現在も地域のサロンや夏祭りなど、地域の活動を担っている住民自治協議会がありますが、中心となるメンバーは60歳を超えている方が多いのが現状です。

さまざまな活動において担い手が不足していることが大きな課題となっており、若い世代の力を必要としています。

地域の方向け

学生の素顔、 知って欲しい！

東広島市に住んでいる学生は県外出身者の割合が高いのが特徴で、授業・研究・サークル・部活動・アルバイトに多くの時間を費やしています。教育実習や就職活動などが最優先になる時期もあり、多くの方がイメージされるよりも忙しい日々を送っています。

学業・研究

1、2年生は授業、理系の学部では実験等、教育学部では教育実習を行っている学生が多い。

出身

県外出身者の割合が高い。

サークル・部活動

ある大学では、7割を超える学生が、何らかのクラブ・サークル活動に参加している。

アルバイト・経済面

全体の9割近くの学生がアルバイトを経験しており、アルバイト代を学費や生活費にあてる学生が増加。

就職活動・将来

学生にとって、「就職・進路」は学業とともに最優先事項。
1、2年生の頃から多くの学生がインターンシップに参加し、3年生の秋頃からは就職活動中心の生活に。一方で、就職先等が決まった学生は時間に余裕ができる。

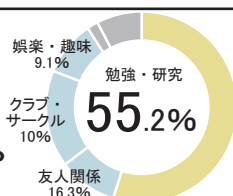
試験・長期休暇

7月後半～8月前半、1月後半～2月前半は試験期間にあたるため、学業に集中。その後は、長期休暇（夏休み、春休み）に入るため、帰省等により不在となる学生が多い。

アンケートから見えてくる、リアル

Q1

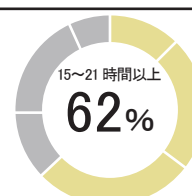
大学生活において大切にしていることはなんですか？



「勉強や研究」はもちろん、大学以外での課外活動や人間関係の構築も大切にしている。

Q2

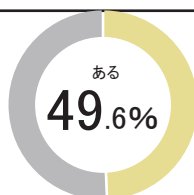
1週間で授業にあてている時間はどれくらいですか？



1週間の中で多くの時間を授業にあてている。空いた時間で課題やアルバイト、サークル活動。

Q3

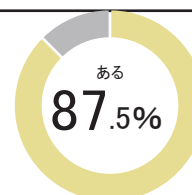
学外のボランティア・地域活動に参加したことはありますか？



ボランティア活動や社会的活動への関心が高い。

Q4

アルバイトをしたことはありますか？



忙しい中でも、授業や課外活動などと並行して約9割の学生がアルバイトを経験している。

学生向け

地域活動って何？

「地域活動」という言葉に明確な定義があるわけではなく、様々な活動が含まれていると考えられています。ボランティア活動や地域行事のお手伝い、国際交流、地域でのイベント開催など、東広島市という地域を舞台にして「地域の活性化」や「困りごと解決」など何らかのプラスの影響を生じさせる非営利活動をイメージして頂けたらと思います。

自分に合った活動を見つけよう

／スタート！／

1

地域・ボランティア活動に、興味がある。

No

Yes

2

やりたいことが決まっている。

Yes

No

3

自分で新しいことを始めたい。

Yes

No

参加して、自ら
企画してみよう！

地域活動・ボランティア
について相談してみよう！

実際に地域に出かけたり
話を聞いてみよう！

まずは地域について
情報収集してみよう！

Keyword

ひがしひろしま
学生 × 地域塾

Keyword

相談窓口

Keyword

地域体験ツアー

Keyword

学生の活動紹介

自分に合った **Keyword** を「学園都市づくり交流会議」のホームページで検索してみよう。
これからの参考となる情報が見つかるはずです。

事業の様子も掲載しています。

<https://www.gakuentoshi-higashihiroshima.jp/>



こんな時どうすればいいの？

地域の方 編

学生と地域が連携して活動を行う際に、お互いが疑問に思うことやどうすればいいか迷ってしまうことがあると思います。ここでは、それぞれの疑問について、「地域の方編」、「学生編」、「共通編」の3つに分類し、Q&A方式で解説をしています。

Q 地域の祭りやサロンを手伝ってもらいたいけど どこに相談すればいいかな？

最終ページのコーディネーターにご相談ください。学生と地域がつながるためのお手伝いをさせていただきます。学生、地域の方、皆それぞれ立場や考え方が違いますので、お互いの立場を認め、無理のない範囲で相談しながら活動していくことが大切です。

Q 活動のお礼やお金の支払いはどうしたらいい？

原則として、どちらかの負担があまりにも大きくなる状況は避けることが大切です。学生に交通費程度を支払うケースが多いですが、適切な謝金等を支払う場合もあります。お金に関することは、特に丁寧にお互いが相談をしながら決めていきましょう。また、金銭以外にも、地域の方と一緒に活動し、活動後は地域のおいしいものを食べたりするなど、学生の成長の機会となる体験や触れ合い、学生の目指す未来につながる社会経験や実践経験等は、学生の貴重な財産となるはずです。

Q どうしたら活動が長続きするかな？

役割を明確にするとともに、困っていることを気兼ねなく相談できるような環境を目指しましょう。学生にも得意不得意や時間の制限等があります。また、予定にない活動は思わぬ出費やトラブルを招く可能性もあります。依頼にあたっては、学生に求めていることを明確に伝えるとともに、お互いに相談しながら無理のない範囲で活動を進め、活動が長続きする環境をつくりましょう。

Q 学生も役員や運営委員に入ってもらえないかな？

短期間のボランティア等への参加と、長期にわたる役員や運営委員としての活動は大きく異なります。長期間の活動については、学生が4年間で卒業してしまうことや、就職活動や資格試験などで活動を躊躇してしまうことも事実です。短期間の活動を積み重ねたり、お互いの思いを確認するなど、両者が納得したうえで次のステップに進むことが必要です。

Q 学生はどんな活動を求めているのだろう？

研究やサークルなど、日頃の活動を発表できる場として、例えば敬老会や文化祭に参加させてもらうことは貴重な経験となります。また、学生の多くは、発表の場としてだけでなく、自らの成長や経験につながる活動も求めています。さらに、双方が「ともに成長しよう」という気持ちで取り組み、学生と地域の方が一体となって盛り上がることであれば、より前向きな活動につながります。

Q 希望した人数の学生が集まらない。

学生は、一般的なイメージよりも忙しい日々を送っています。(2ページ参照)試験期間や長期休暇の帰省、就職活動などで活動できない時期もありますので、学生が活動しやすい時期や時間等を確認してみてください。また、活動の体験や交流会を開くなど、参加のきっかけを作ることで、参加者が増えることもあります。

どちらか一方のための活動になるのではなく、双方に何らかのメリットのある活動となるよう心がけ、活動を行うことにより双方のプラスとなるような Win-Win の関係を目指しましょう。



こんな時どうすればいいの？

学生編

Q 1人や未経験での活動はできますか？

1人でも、未経験でも活動は可能です。 いろいろな活動に参加することにより、参加者同士や地域の方との輪がひろがり、一緒に活動を始めたという事例もあります。また、コーディネーター等による相談体制も充実していますので、未経験の方も、ぜひチャレンジしてみてください。

Q 地域活動を行う際の交通費はどうしたらいいの？

原則として、どちらかの負担があまりにも大きくなる状況は避けることが大切です。地域での活動に参加する場合、まずは、受け入れ先やコーディネーターに相談してみてください。また、大学や市役所などが実施している補助制度等を利用できないか確認してみましょう。

Q 地域での活動には、具体的にどのような意味・メリットがあるのかな？

「地域」と「自分」の二つの側面から考えると、地域に対しては、例えばイベントが盛り上がることで、地域の一体感につながったり、より多くの人にまちの魅力を知ってもらうことができます。自分に対しては、新たな能力が身に付き、知見が広がるなど、自分の成長のきっかけになるはずです。

普段関わりのない人との出会いや地域の方と協力して行う活動、ボランティアとしての現場体験等は、将来につながるとても大切な社会経験や実践経験となるはずです。



Q 行く度に、地域の方がご飯など色々と提供してくれるのだけど、甘えていいのだろうか？

地域の方のご好意を無下に拒否したり、一方で極端に甘えすぎるのもよくありません。お互いが無理をせず、長く、気持ちよく活動が続けることができる関係を考えていくことが大切です。

Q 大学を卒業したらこれまで参加してきた活動はどうなるのかな？

特にルールはありません。後継の人が引き継いだり、卒業後の生活を考慮しながら自分なりに関わっていく形でかまいません。無理に後継者を残すことを考えなくてもいいと思います。その場合も、これまで関わってきた方々には事前にお知らせしておきましょう。できる範囲で、その地域と長く関係性を持っていくという考え方で、地域と関わっていくことが大切です。

Q 思っていた活動と違うんだけど・・・。

まずは、悩んでいることを地域の方に相談してみましょう。お互いの思い違いが原因となっていたり、話し合うことにより解決することがあります。話し合いがうまくいかなかったり、相談するのは気が引ける場合には、最終ページに記載のコーディネーター等に相談してみましょう。

お互いの思いを理解し、活動を行うことにより双方に何らかのプラスの影響が生じるような関係を目指しましょう。



こんな時どうすればいいの？

地域の方 & 学生共通編

Q 感染症対策は？

国や県、市、大学などが発出している情報をよく確認し、適切な感染症対策を行いましょう。状況に応じて、連絡を電話やメールにするなど、工夫が必要になるかもしれません。また、イベント等では、主催者側も参加者側も、マスクや手指の消毒など、できる限りの対策を講じましょう。

Q 連絡方法はどちらがいい？

電話、メール、LINE や Facebook など、様々な連絡手段がありますが、その利用方法はそれぞれの状況により異なります。お互いが最も有効となる連絡方法を確認しておきましょう。また、学生の方から地域の方々に向けて SNS の使い方などの勉強会を開くなど、お互いの関係が深まるきっかけが生まれるかもしれません。

Q 困ったときは？

1 人で悩まず、できるだけ相手方と本音で話をできる機会を作りましょう。どうしてもうまくいかない場合は、最終ページに記載のコーディネーター等に相談してみましょう。

Q 活動内容によっては、一日単位で 保険に加入（する・してもらう）ほうがいいのかな？

清掃活動など危険性を伴うものなど、活動内容に応じ、保険への加入をお勧めします。社会福祉協議会等で取り扱うボランティア用の保険など、低価格で加入できる保険もあります。費用負担や手続きについては、依頼する側が行うケースが多いようです。

どのような活動を行っていますか？

約3年前から、吉川地区で田植えや稲作などのスクール活動や、農家さんの農産物などを販売するマーケット活動（マルシェ）などを行っています。学生さんの方から「地域のことを知りたい、活動をさせてほしい」と連絡があったことがきっかけです。もともとこの地区では小学校の統合などが進んでおり、地域として何か活動を始めていかなければいけないという思いがあったことも後押ししました。

受け入れた当初は どのような状況でしたか？

一緒に活動しようという話になったものの、前例が無く受け入れ体制も整っていなかったため、双方が探り探りの状態でした。ただ次第に学生に手取り足取り教えなくても主体的に動いている様子が見られ、私たち受け入れ側はあくまでも“補佐役”に徹しようと考えました。徐々に信頼関係を築くことが出来たように思います。

学生を受け入れて良かったことは何ですか？

これは吉川地区に限った話ではないと思いますが、よその人に対して少し排他的な側面があるかと思います。ただ学生さんを受け入れてから、地域の住民の皆さんと学生の間で対話が生まれ、次第に心を打ち解けて文化が変わり始めました。ある意味最初は地域に縁もゆかりもない人と活動を共にすることに抵抗があったとは思いますが、住民の皆さんの表情や学生と向き合う姿勢が変化している様子を目の当たりにして、「変化のきっかけを与えてくれた」という点で一緒に活動して良かったと思いました。「学生の為に」という思いで受け入れ始めましたが、活動を通して私たち自身が助かっていると感じています。

長期的な活動を継続していく為に大切なことは何ですか？

若い世代が地域をフィールドにした活動をするとき、イベントが単発で終わってしまうなどプロジェクトとして継続していかないケースがあるかと思います。受け入れる側と学生がしっかり連携する体制を作って双方の目的を明確にして、最初から長期的な活動をゴールとすることが大切だと思います。継続して活動をしていくことで、その活動に関わる全ての人に変化が少しずつ見られ、得るものも多いでしょう。

どのような活動を行っていますか？

主に二つの活動をしています。一つ目は、町歩きや田植えなどを通して地域やそこに住む人と触れていただくことで地域への愛着を持ってもらうための活動です。二つ目は地域の情報を紹介するウェブメディアのライターの活動です。

活動を始めたきっかけは何ですか？

約 1 年前にライター募集の案内を見て、自分からすぐに連絡をしたことがきっかけです。せっかく行くならその活動に価値を見出し発信して、一人でも多くの方にその活動の良さを知っていただけたら、という思いがありました。

約 1 年の活動を通してどのようなことを学びましたか？

日々多くの学びがあります。活動を通して、大学生活やアルバイトだけでは出会えなかったであろう地域の方と交流したり、なかなか触れることがない東広島の歴史や魅力を知ることができたりし、地域に愛着を持つことができました。日常の範囲外に興味を持つことができたので自然と視野が広がっているように思います。

大学の授業やアルバイトと地域の活動は両立できていますか？

両立できるように調整しています。アルバイトは週 3~4 日ほどしており、就活のための勉強やインターンシップも少しずつ始めたため忙しくなってきましたが、「今はこれをする時間！」と時間を区切りながら空いてる時間を使って両立させています。予定通り行かないこともあります。これもまた勉強と思っています。また、社会人の方々と一緒に活動することができる経験は、学生の立場からするととても貴重だと感じます。

地域との活動をする上で気をつけていることはありますか？

イベントの準備にしても日々のミーティングにしても、大切な時間を割いていただいている以上、学生だからと言って生半可な気持ちは持たないようにしています。言葉遣いやマナー、一般的な常識なども気を付けるようにしています。一方で、学生ならではの視点や意見など学生の自分だからこそ提供できることも大事にするようにしています。

地域との活動に関心がある学生に向けたメッセージをお願いします。

少しでも地域での活動に関心がある学生の方は飛び込んでみてください。地域が抱えている課題と自分の思いを掛け合わせることで、きっと地域の方の力になれば、喜んでくださると思いますよ。そして、それが必ず自分自身の成長にもなると思います。

こんな時は、
相談してください。

- ☒ 地域で活動してみたいと思ったら
- ☒ 活動していて困ったら
- ☒ 不明点や疑問点が発生したら

まずは、活動をサポートしてくれる
コーディネーターに相談してみましょう。

コーディネーター連絡先

市民協働センター

082-422-1036

東広島市西条栄町8番29号
東広島市役所北館1階

学園都市づくり交流会議

082-420-0917

事務局：東広島市役所 政策推進監内
東広島市西条栄町8番29号

<https://www.gakuentoshi-higashihiroshima.jp/>

